

2026東関東支部教育大会要綱

目 的	大会経験のない1年生のマナー等の経験値向上を目的とする。
参加資格	東関東支部所属チームの1年生で、野球ねっくに選手登録済みであること。 本大会は、子チームの登録がなくても1年生が26名以上の場合は2チーム、51名以上の場合は3チームの参加を認めます。合同チーム編成は、10名以上25名以下であれば、複数チームでの編成可とします。
進 行	フレッシュマン大会を前にプレ大会として実施し、東関東支部審判部協力のもとグラウンド提供チームの事務局長、審判長を中心に大会と同じように進行する。 グラウンド提供チーム以外の各チームの事務局長、審判長も積極的に応援をお願いします。 第一試合 9:00、第二試合 11:00、第三試合 13:00を原則とする。
大会規則	関東連盟大会規則による。(同連盟HPにアップされている) ただし、4回10点、5回7点のほか3回13点のコールドゲームを取り入れる。 チームはグラウンド到着後、速やかに指導者カード・選手カード・メンバー表を提出すること。
日 程	8月9日(日)、8月11日(火・祝)開催。 ※各チームどちらか1日の参加になります。
予備日	8月15日(土)
荒天時の対応	グラウンド提供チームは、天候不良の場合、天気予報、グラウンド状態を勘案し、支部競技部長と協議のうえ、極力早く中止又は待機を決定し該当チームに連絡する。
試合方法	原則、各会場2試合(4チーム) ※熱中症予防対策として、各チーム1試合
組み合わせ抽選	支部理事による代理抽選
審判員	各チームの帯同審判員としますが、熱中症予防対策として、各審判員とも原則1試合担当とします。 したがって、各チーム2名帯同で、うち1名は球審のできる方。 審判員は7:30に集合してミーティングを行います。
昼食・飲料等	役員・派遣審判員・帯同審判員の昼食・飲料はグラウンド提供チームで用意してください。昼食は1個800円程度で参加チームで按分し、飲料代は1チーム1,000円を負担してください。 ※猛暑対策として、飲料は十分な量の用意をお願いします。グラウンド提供チームは領収証の発行をお願いします。
グラウンド使用料	2,500円/1試合(公営球場の場合は3,000円/1試合)。 グラウンド提供チームは領収証の発行をお願いします。
試合球	試合球は協会の公認契約スポーツメーカーの刻印が確認出来る硬式球とする。(練習球可) 試合開始前メンバー表(5枚)交換時に3球、試合中不足分はその都度抛出する。 試合後試合球は両チームに返却する。
ロジン	試合で使用するロジンバックはメンバー表交換時に確認し両チームで管理する。
ユニホーム	試合用ユニホーム着用。背番号(1~25)、リトルシニアとエイジェックのワッペン付き。
用具チェック	通常どおり行う。
試合速報入力	グラウンド提供チームは、試合経過を関東連盟のHPに速やかにアップする。
投球制限	投球制限は、日本リトルシニア関東連盟ガイドラインによる。 各チームの監督または担当コーチは、1試合終了後にグラウンド提供チームの事務局長または審判長に投球数確認シートA表を確認してもらい、ガイドラインに沿った運用をお願いします。 投球数確認シートA表およびB表は、チームの投球数確認担当者が本部で記入してください。

1日目

8/9(日)

予定

グラウンド	第1試合		第2試合		第3試合
松戸 運動公園野球場	松戸	— 八千代中央	浦安B	— なめがた	—
八千代市 総合運動公園野球場	八千代	— 四街道	袖ヶ浦	— 鹿嶋市	—
千葉北シニアG	千葉北	— 浦安A	市川	— 匝瑳EAST	—
常総シニアG	常総	— 野田	茨城A	— 市川京葉	—
竜ヶ崎シニアG (KKスタジアム)	竜ヶ崎	— 船橋中央	常陸太田	— 匝瑳WEST	—
	—		—		—
	—		—		—
	—		—		—
	—		—		—

2日目

8/11(火・祝)

予定

グラウンド	第1試合		第2試合		第3試合
八千代市 総合運動公園野球場	八千代島田台	— 鎌ヶ谷	野田	— 千葉東	—
常陸太田シニアG (大里球場)	常陸太田BC	— 市川京葉	茨城B	— 市川	—
	—		—		—
	—		—		—
	—		—		—

2025関東大会タイムテーブル

第一試合

※7時30分グラウンド借り入れ会場の場合

Aタイプ・7分7分が有る会場		Bタイプ・7分7分が無い会場	
7時40分までに提出物（※1）を本部席（理事）へ提出してください。		7時40分までに提出物（※1）を本部席（理事）へ提出してください。	
7:30	グラウンド借り入れ 理事・審判員集合・ミーティング	7:30	グラウンド借り入れ 理事・審判員集合・ミーティング
7:40	グラウンド解放 グラウンドイン後ベンチ前に 用具を並べて用具チェック・ その後外野でアップ ※寒い時期はバッテリーに限り ボールの使用を可能とする場合がある。（理事の判断） 用具チェック後攻守決め *バックネット前 又は本部席	7:40	グラウンド解放 グラウンドイン後ベンチ前に 用具を並べて用具チェック・ その後外野でアップ 遠投・トスバッティングは シートノック迄可能 用具チェック後攻守決め *バックネット前 又は本部席
8:20	トスバッティング（7分以内） &キャッチボール（7分以内）		
8:40	シートノック * 7分以内	8:40	シートノック * 7分以内
9:00	試合開始	9:00	試合開始

第一試合開始は9時とし、早く開始しないようご協力をお願いいたします。

（1日3試合予定・天候によっては早めの開始は可能とします。）

第二試合

第二試合目以降のチームはグラウンド到着後速やかに提出物（※1）を本部席（理事）への提出を願ひ致します。

本部役員はアップ会場や用具チェックの時間やタイミングなどを説明する。

※3回終了を目安に攻守決めを行う。

※用具チェックは原則グラウンドイン後ベンチ前にて行う。（天候やなど時間短縮などで変更となる場合あり）

※当日のグラウンドコンディションや天候などにより予定のタイムテーブルと異なる事もあります。

※1 提出物（選手カード・指導者カード・メンバー表・投球数確認シート様式A）

グラウンド到着後、速やかに監督が本部席に提出をお願い致します。

※選手を並べての資格審査は行いません。（カードとメンバー表の照合のみとなります）

<様式 A>

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】 (試合終了後チームで保管)

大会名 : 2026東関東支部教育大会

チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球 場 名																	
試 合 月 日		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
対 戦 相 手		VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS
背番号	投 手 名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
投球数カウント者 確認サイン (自チーム)																	
投球数カウント者 確認サイン (相手チーム)																	
監督 確認サイン																	

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- 【投球数制限】
- ① 1日最大90球以内とする。
 - ② 連続する2日間で130球以内とする。
 - ③ 3連投 (連続する3日間) する場合は、1日目45球以内、2日目の投球数を45球以内とし、3日目の投球数を40球以内とする。但し、1日目、2日目で、当該打者の打席途中に、投球数が45球になった場合は、その時点で投球を打ち切らなければならない。4連投 (連続する4日間) は認めない。
 - ④ 上記 ① ② の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。③ の場合3日目のみ打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了まで投球を認め制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
 - ⑤ 1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
 - ⑥ 打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。

- また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。(例:2ボール.1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)
 - ⑧ 雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
 - ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。
- 【本シートの運用方法】
- ① 試合終了後、本シート (原本) に両チーム投球数カウント者が投球数を記入し、サインをする。その後に、監督へ確認およびサインを受ける。
 - ② 監督は、サインされた本シート (原本) を次の試合まで保管する。
 - ③ 監督は、連戦等の場合は開始前に本シート (原本) とコピー2部を大会本部へ提出する。
- 注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。

<様式 B> (1試合用)

投 球 数 確 認 シ ー ト

[責任審判員保管 (試合終了後)]

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2026東関東支部教育大会

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球 場 名 :

< 記 入 例 >		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正 T	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注) 五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

[記 入 欄]													
背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

[投球数制限] 注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。

② 連続する2日間で130球以内とする。

③ 3連投 (連続する3日間) する場合は、1日目45球以内、2日目の投球数を45球以内とし3日目の投球数を40球以内とする。但し、1日目、2日目で、当該打者の打席途中に、投球数が45球になった場合は、その時点で投球を打ち切らなければならない。

4連投 (連続する4日間) は認めない。

④ 上記 ① ② の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。③の場合3日目のみ打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了まで投球を認め制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能とする。

⑥ 打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。

⑧ 雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。

⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。
- [本シートの運用方法]
- ・投球数カウント者が様式Aへ転記し、試合終了後、責任審判員が保管する。